

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	感動する大学スポーツ総合支援事業			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域スポーツ課		地域スポーツ課 課長 橋田 裕 参事官(地域振興担当) 田中 一 明	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法第28条			関係する 計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日)			
政策	11 スポーツの振興			主要経費	教育振興助成費			
施策	11-1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、 そのための人材育成・場の充実							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-33.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	「大学スポーツ」は、単に一部の学生アスリートにとってのみ重要なものではなく、大学全入時代の中で、多くの学生にとっても大学スポーツを通じ、健康の維持増進や社会的スキルの獲得といったスポーツの価値・効用を得ることができる貴重なものである。また、大学は素晴らしいスポーツ資源(人材、施設、知識など)を有し、大学スポーツを通じて地元地域の発展を支える存在として重要な地位を占めている。「大学スポーツの振興」と「大学スポーツによる地域振興」とを総合的に支援し、(一社)大学スポーツ協会(UNIVAS)とも連携・協力し、「感動する大学スポーツ」の実現を目指す。							
現状・課題 (5行程度以内)	大学は素晴らしいスポーツ資源(人材、施設、知識)を有しており、「大学スポーツによる地域振興」等に取り組む大学をモデル的に支援し、全学的な取り組みを推進した。しかし、事例数がまだ少なく、取り組みの認知度が低いことから他の大学で横展開されていないのが現状である。また、個々の取り組みにおいても深化が必要な状況である。加えて、コロナウイルス感染症の影響により大学運動部活動は減少している。第3期スポーツ計画に記載されている「大学スポーツの価値向上・認知向上」も今後の大学スポーツ自体の発展に繋がる大きな要素であり、課題となっている。							
事業概要 (5行程度以内)	「大学スポーツの振興」として、学生が安全に安心して大学スポーツに取り組む環境を構築するため、大学の適切な関与・支援体制の構築や、大学スポーツにおける怪我・事故の予防のための研究を行い、安全・安心な大学スポーツ環境の確立を促進するほか、大学スポーツの認知向上・価値向上(ムーブメントの創出)についての調査研究を実施する。また、「大学スポーツによる地域振興」として、大学の有するスポーツ資源(人材、施設、知識など)を有機的複合的に活用し、自治体等の地域の組織・団体とも十分に連携した様々な地域振興の取組を選定し、コンサルティングを行いながら、モデル的に実施、検証分析し、その成果の全国への横展開を図る。このほか、UNIVASの実施する普及啓発事業の一部に対し支援を行う。							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/1402909.htm							
実施方法	委託・請負、補助							
補助率等	定額							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	197	148.1	179	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	197	148.1	179		
	執行額(G)				169.7			
	執行率(%) =(G)/(F)		-	-	86%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		-	-	86%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		スポーツ振興費		部活動の地域連携・地域移行への貢献を行うため増額			
		(目)	民間スポーツ振興費等補助金	61				
			スポーツ振興事業委託費	86				
			職員旅費	1				
			委員等旅費	0				
			諸謝金	0				
			その他	87				179
	計(A)		148.1	179				

活動内容① (アクティビティ)		・加盟大学に対して、大学スポーツ安全安心認証を普及する ・運動部学生のための相談窓口を設置するとともに、学生・職員を対象としたコンプライアンス研修会を実施する。 ・運動部学生の交流会やシンポジウム、年間表彰事業を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		学生が安全に安心して大学スポーツに取り組む環境を構築。	安全安心認証を受けた大学数	活動実績	件	－	3	11	15	－
				当初見込み	件	－	－	－	15	20
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	一般社団法人大学スポーツ協会(以下UNIVAS)の活動を通じて、UNIVASの活動への理解が推進される。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		UNIVASに加盟する大学数を増やす	UNIVASに加盟する大学数	成果実績	件	－	219	217	－	
				目標値	件	－	－	－	300	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		ANNUAL REPORT2021-2022(一般社団法人大学スポーツ協会出典)								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	UNIVASに加盟する大学が増加することで、試合の配信やシンポジウムを通じて大学スポーツの認知度向上に繋がる。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		大学スポーツの認知度に関する評価向上	大学スポーツの認知度に関する評価において「関心がある」と答える割合	成果実績	%	－	45.6	－	－	
				目標値	%	－	－	－	70	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		R3大学スポーツの認知度に関する調査								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	大学スポーツの認知度が向上することが、参画(みる、する、支える)する人口の拡大に繋がる。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		大学スポーツに参画(する、みる、ささえる)する人口の拡大	一般社団法人大学スポーツ協会が運営する試合映像の視聴回数増加	成果実績	回	－	－	2,718,238	－	
				目標値	回	－	－	－	10,000,000	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		一般社団法人大学スポーツ協会で管理する視聴回数にて確認								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		大学スポーツ資源を活用した地域振興モデルの創出支援 ・モデル事業の実施、効果検証								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		効果検証がなされたモデル事業の創出	効果検証がなされたモデル事例数(累計)	活動実績	件	－	－	13	11	－
				当初見込み	件	－	－	13	11	15
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	効果検証がなされたモデル事業を複数創出することで様々なナレッジを蓄積し、モデル事業参加者の満足度を高め、質の向上を図る。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		創出したモデル事業の質の向上	大学スポーツによる地域振興に取り組む大学数	成果実績	件	－	－	13	－	
				目標値	件	－	－	13	50	
				達成度	%	－	－	100	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する成果実績		スポーツ庁調べ								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	質の高いモデル事業を実施することで、創出した取組の横展開が図られる。また、創出した事業が自発的・継続的に取り組まれる。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度	
		・創出したモデル事業の横展開 ・モデル事業により創出された取組の 自発的・継続的な実施	創出した取り組みの自発的・継続的な取組割合	成果実績	%	－	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	75	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する成果実績		過年度モデル大学へのアンケート調査を実施した結果に基づき、算出(スポーツ庁調べ)								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	創出した自発的・継続的な取組の各大学への横展開により、多くの地域で大学スポーツを活用した地域振興の自発的な取組の促進に寄与する。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		・多くの地域・大学における大学スポーツによる地域振興の自発的な取組の促進	－	成果実績	－	－	－	－	－	
				目標値	－	－	－	－	－	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する成果実績		－								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		多くの地域・大学における大学スポーツによる地域振興の自発的な取組の促進に寄与するものの、短期アウトカムの成果のみが影響するものではないため。								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

[illegible]



